

1972.4.26

九州大学 大型計算機センターニュース

No. 34

福岡市大字箱崎
九州大学大型計算機センター
共同利用掛(TEL 092-64-1101)
内線 2256

目 次

- ・ 5月からのTSSの運用について 1
- ・ センターニュースNo.33の“紙テープ入力依頼について”
 の内容の修正について 2
- ・ 障害ジョブキャンセル願書の提出方法について 2

◇ 5月からのTSSの運用について(5月9日より実施)

TSSの実験、運用実験に御協力いただいて来ましたが、今回

- ① E061T(TSSモータ)の提供によりシステムがかなり安定した。
- ② TSSの運用管理プログラムが完成した。

ことにより、5月9日よりTSSを一部(リモートバッチ)運用に組み込みます。しかしながら運用に組み込むとはいえ

- ① TSSは、現在のシステムでは、ローカルバッチに比してかなり効率が落ちる。
- ② TSSは、現在のシステムでは、同時に多数のデマンドジョブを実行すると著しく効率が落ちる。
- ③ デマンドジョブの負担金算定方式がまだ定つてない。

の理由により、当初は当分の間、時間数，リモートバッチジョブの打ち切り定数，デマンドジョブの依頼件数に制限をして行なうことになります。またTSSの運用により、処理効率の低下した分は、延長運転により回復させる考えですので、TSS，ローカルバッチ利用者とも、1日も早くTSSの完全な運用ができるよう御協力の程お願いします。

なお、実施の要領は下記の通りです。端局の方には追つて端局ニュースで詳しくお知らせします。

(1) 負担金の徴収

- ① リモートバッチは負担金を徴収します。

リモートバッチ負担金＝ローカルバッチ負担金＋16.666円×[(端末出力行数)×0.04]

- ② デマンドは当分の間負担金は徴収しません。

(2) 時間帯の変更

	8:30	12:00	処 理 内 容
月			
火	← T S S 運用 →	-----	ローカルバッチ, リモートバッチ, ただしデマンドは同時には1ジョブ
水			
木	← T S S 運用 →	-----	//
金	← T S S 運用 →	-----	//
土			リモートバッチ, デマンド (デマンドの同時ジョブ数には制限はしない)
		12:30 ----- 15:30	
		T S S 運用 (一部実験)	

(なお、運用に踏切るのは初めてなので、当初は多少のトラブルが発生するかも知れません。)

◇ センターニュース№33の“紙テープ入力依頼について”の内容の修正について

センターニュース№33で紙テープの入力依頼について、大幅な変更がある旨、お知らせ致しましたが、内容にかなり問題点があることが分かりましたので、追ってセンターニュースで修正します。それまで、紙テープ利用者は従来の方法でジョブ依頼をしてください。

◇ 障害ジョブキャンセル願書の提出方法について

障害ジョブキャンセル願書を提出される場合、必ず提出者は捺印し、プログラム相談員の認印をもらつたうえで、所定の受付窓口へ提出して下さい。

なお、印のないキャンセル願書は受け付けません。